

■ 朝日新聞社が300人希望退職募集へ

朝日新聞社が2023年度までに社員計300人規模の希望退職の実施を検討していることが2日、分かった。業績悪化を受けた構造改革の一環とみられ、まずは100人以上を対象とした具体案を労働組合に示した。退職者には特別一時金を支払うほか、再就職も支援する。

21年1月12日～3月22日に100人以上を募集する。一部の管理職などを除き、来年3月31日時点で勤続10年以上の45歳以上65歳未満の社員が対象となる。原則5月31日付で退職する。年収や年齢に応じて、希望退職特別一時金として最大計5000万円を支給する。再就職支援会社のサービスも受けられるようにする。

朝日新聞社広報部は「対外的に公表しておらず、お答えは差し控えさせていただきます」としている。